

キラリ☆おこしよ

県内各地で活躍する、キラリと輝く女性たちにお話を聞きました。



鹿児島大学 学術研究院
法文教育学域教育学系
准教授

石走 知子さん

国立大学法人鹿児島大学
Tel.099-285-7111
鹿児島市郡元 1-21-24

学生と共に思春期のころとからだを支援

私の研究テーマは思春期の健康教育と支援です。助産師の現場で実感した「いのち」の奇跡や輝きを、思春期の子どもたちとその親や先生に伝えたい、という思いが根っこにあります。その思いから病院勤務の傍ら教育学を学び、鹿児島大学医学部保健学科で助産学教員を経て、現在は教育学部で教員養成に携わっています。

保健学科時代から深く関わっているのが、学生サークル「ピア☆びあ☆かごしま」です。活動は、保健学科の学生が中心となり、県内各地の中学・高校で出前授業を行っています。男女交際や人間関係、体の変化など思春期の子どもの悩みや課題について、学生が同世代の仲間（ピア）として耳を傾け、共に考え、サポートするというものです。また、かごしま県民交流センターで毎月開いている出張相談「びあ・すてーしょん」はこの春、100回を迎えました。

学生たちの活躍と成長には目を見張るものがあります。最初人前に出ることが苦手だった学生も、仲間と支えあって経験を重ねるうちに、堂々としたリーダーシップと自信が備わってきます。若い人たちのしなやかな強さを見ていると、私もがんばろう！という気持ちになります。

これからも、かけがえのない「いのち」の素晴らしさを伝え続けたいです。

だれもがしあわせに暮らせる故郷づくりへ

南九州市で特別養護老人ホームと通所介護事業所、また指宿市で障害者支援施設を運営するなど、生まれ育った南薩の地で福祉の仕事に携わっています。

私の住む頰娃町岡村地区は人口約200人、高齢化率は36%。商店や老人クラブが消滅し、住民同士が日常的に顔を合わせる機会が減ってきています。そこで、自治体と連携して、誰もが安心して生活できる地域社会を目指し、2年前に活動を始めました。地域の課題を共有し、高齢者や障害者への理解を深める勉強会や、まち歩き、徘徊模擬訓練など、子どもたちも巻き込んで実施しています。

最近始めたのは、高齢者と若い世代が一緒にお茶を飲み、お菓子を食べながら交流するサロン活動。運営の中心は地域の主婦です。主婦の行動力と細やかな目配りにはいつも感心させられます。

私たちのまちには、山、海、やさしい人情と、良いものがたくさんあります。人が集まる地域社会づくりを目指して、これからも頑張りたいと思います。



社会福祉法人そてつ会 理事長
鹿児島県男女共同参画
地域推進員

岡村 もも子さん

社会福祉法人そてつ会
Tel.0993-38-0121
指宿市山川福元 4856-1



自治体と協力して行う徘徊模擬訓練で、高齢者や障害者への理解を深める。